# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number:

07-169550

(43) Date of publication of application: 04.07.1995

(51)Int.Cl. H01R 43/20

(21)Application number: 05-313036 (71)Applicant: YAZAKI CORP (22)Date of filing: 14.12.1993 (72)Inventor: IKURA TOSHINORI

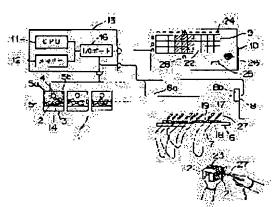
# (54) ASSEMBLING GUIDING DEVICE FOR HARNESS SUB-ASSEMBLY

### (57)Abstract:

PURPOSE: To facilitate the change of a product number, and reduce the cost by arranging a light shielding sensor to take out an electric wire having a connector and a terminal, a display means of a shape of a connector to be used and a terminal inserting position and a control means.

CONSTITUTION: A kind of connector 2 to be used is beforehand inputted in

CONSTITUTION: A kind of connector 2 to be used is beforehand inputted in use order to a memory 12, and simultaneously when the shape is flickered on a display unit 10 by starting, a display lamp 4 of a connector box 3 having it is also flickered. When the connector is taken out, a light shielding sensor 5 is turned on, and the display unit 10 also changes to lighting. Next, when an electric wire 7 having a terminal is taken from an electric wire support tool 6, a stepping sensor 8 is turned on, and a terminal inserting position is flickered on the display unit 10, and a terminal housing chamber 21 in which a terminal 27 is inserted is indicated. When the terminal 27 is all inserted in the connector, an alarm is given by a buzzer 26 and an alarming lamp 28, and a connector assembly is returened to the support tool 6, and the sensor 8 is turned on. When the whole is finished, the buzzer 26 buzzes long, and at the same time, a guiding device 1 is reset.



## **LEGAL STATUS**

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

## (19)日本国特許庁 (JP)

# (12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

# 特開平7-169550

(43)公開日 平成7年(1995)7月4日

(51) Int.Cl.6

識別記号

庁内整理番号

FΙ

技術表示箇所

H01R 43/20

Z 6901-5E

審査請求 未請求 請求項の数5 OL (全 4 頁)

(21)出願番号

特願平5-313036

(22)出願日

平成5年(1993)12月14日

(71)出願人 000006895

矢崎総業株式会社

東京都港区三田1丁目4番28号

(72)発明者 伊倉 利徳

静岡県榛原郡榛原町布引原206-1 矢崎

部品株式会社内

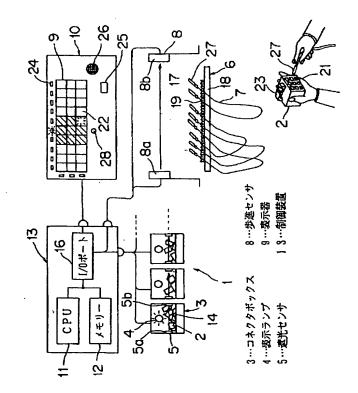
(74)代理人 弁理士 瀧野 秀雄 (外1名)

# (54) 【発明の名称】 ハーネスサプアッシーの組立誘導装置

## (57)【要約】

【目的】 使用すべきコネクタの表示とコネクタへの端子の挿入位置の表示とを行って組立作業を容易としたハーネスサブアッシーの組立誘導装置を提供する。

【構成】 表示ランプ4とコネクタ取出口14に臨む遮 光センサ5とを有してコネクタ2を収容させる複数ののネクタボックス3と、電線支持具6に並列に保持された 端子付電線7の取出側に設置された遮光式の歩進センサ8と、コネクタの形状とコネクタの端子収容室の位置 を光表示する表示器10と、表示ランプと遮光センーを を光表示器とに接続するCPUとメモリーを 蔵した制御装置13とにより構成される。また、歩進センサと連動してコネクタの端子収容室の残数やハーを サブアッシーの全端子数と全コネクタ数との総和を サブアッシーの全端子数と全コネクタ数とのに作動する サブアッシート手段や総和がカウントされた時に作動するリセット手段を有する。



**BEST AVAILABLE COPY** 

【特許請求の範囲】

【請求項1】 表示ランプとコネクタ取出口に臨む遮光 センサとを有してコネクタを収容させる複数のコネクタ ボックスと、竿状の電線支持具に並列に保持された端子 付電線の取出側に設置された遮光式の歩進センサと、該 コネクタの形状と該コネクタの端子収容室の位置とを光 表示する表示器と、該表示ランプと遮光センサと歩進セ ンサと表示器とに接続するCPUとメモリーを内蔵し、 該メモリー内のコネクタ形状を該表示器に表示すると共 に該コネクタ形状と同一のコネクタを有する該コネクタ に該コネクタ形状と同一のコネクタを有する該コネクタ ボックスの表示ランプをオンさせ、該歩進センサの作動 毎に該メモリー内の端子収容室位置を順次該表示器に表 示させる制御装置とにより構成されることを特徴とする ハーネスサブアッシーの組立誘導装置。

【請求項2】 前記各コネクタにおける最後の端子収容室であることを報知させる手段を有する請求項1記載のハーネスサブアッシーの組立誘導装置。

【請求項3】 前記歩進センサと連動してコネクタの端 子収容室の残数を検出するカウント手段と、該残数が一 になった時に作動する報知手段とを有する請求項1記載 20 のハーネスサブアッシーの組立誘導装置。

【請求項4】 ハーネスサブアッシーにおける最後の端子収容室であることを報知する手段を有すると共に、完成したハーネスサブアッシーを前記電線支持具に戻すことにより前記表示器等が初期値にリセットされる請求項1~3記載のハーネスサブアッシーの組立誘導装置。

【請求項5】 前記電線支持具からの端子取出時と該電線支持具へのコネクタの戻し時とに前記歩進センサと連動してハーネスサブアッシーの全端子数と全コネクタ数との総和を検出するカウント手段と、該総和がカウント 30された時に作動する報知手段とリセット手段とを有する請求項1~3記載のハーネスサブアッシーの組立誘導装置。

#### 【発明の詳細な説明】

[0001]

【産業上の利用分野】本発明は、使用すべきコネクタの表示とコネクタへの端子の挿入位置の表示とを行って組立作業を容易としたハーネスサブアッシーの組立誘導装置に関するものである。

[0002]

【従来の技術】図4は従来のハーネスサブアッシーの組立誘導装置を示すものである。該組立誘導装置30は、複数のコネクタ挿入穴31を有するコネクタ受け具32に、コネクタ(図示せず)の端子収容室に対応する複数の表示ランプ33を配設し、該挿入穴31内にセットされたコネクタに対して制御装置34により端子の挿入順序を順次該表示ランプ33に表示させるものである。

【0003】端子の挿入確認はコネクタ挿入穴31内の 導通ピン35を通じて行われ、その信号がトリガとなっ て次の端子位置表示を行わせる。また端子付の電線は竿 50 状の電線支持具(図示せず)に並列に配置され、作業者が該電線支持具の端から順に端子付電線を外してコネクタ内に挿入する。

【0004】しかしながら、上記従来の装置にあっては、コネクタ受け具32に特定形状のコネクタしかセットできないために、多種のコネクタに対応するためには種々のコネクタ受け具32を設定しなければならず、多くのコストがかかると共に装置30が大掛かりとなり、且つ急な設変等に対処できず、またハーネスの品番切り替え時の段取作業に多くの工数がかかるという問題があった。

[0005]

【発明が解決しようとする課題】本発明は、上記した点に鑑み、種々のコネクタに対応して端子を誘導組立させることができ、しかもコスト的に有利で且つ品番切り替え時の段取作業に工数がかからず、急な設変等にも対応でき、装置自体も大掛かりとならないハーネスサブアッシーの組立誘導装置を提供することを目的とする。

[0006]

[0007]

【作用】表示器に使用すべきコネクタの形状が点滅等で光表示される。それと同時に複数のコネクタボックスの内で使用すべきコネクタを有するボックスの表示ランプが点滅等される。作業者がヨネクタボックスからコネクタを取り出すことにより遮光センサが作動し、コネクタ取出検知と表示器のコネクタ形状点灯等の次の作動準備とが行われる。次いで作業者が電線支持具から端子付電線を取り出すことにより歩進センサが働き、逐一表示器に端子挿入位置が点滅等で光表示される。作業者は表示器を見ながら順次端子をコネクタ内に挿入していき、複数のコネクタと端子付電線とよりなるハーネスサブアッシーを完成させる。

[0008]

【実施例】図1は本発明に係るハーネスサブアッシーの 組立誘導装置の一実施例を示すものである。該組立誘導 装置1は、各々異種のコネクタ2を収容する複数のコネ クタボックス3と、各コネクタボックス3に設置された表示ランプ4と遮光センサ5と、竿状の電線支持具6に並列に保持された端子付電線7の取出側に設置された遮光式の歩進センサ8と、コネクタ2の輪郭形状と該コネクタ2の端子収容室の位置とを光表示するディスプレィ9を有する表示器10と、CPU(中央処理装置)11とメモリー12とを内蔵して該遮光センサ5と歩進センサ8と表示器10とに接続された制御装置13とにより構成される。

【0009】該コネクタボックス3は横並びに複数設置 10 され、各コネクタボックス3にはそれぞれ異なる種類のコネクタ2が入れられる。各ボックス3の上部には、使用すべきコネクタ2を取り出すための前記表示ランプ4が設置されている。また該ボックス3のコネクタ取出口14に臨む側壁15には、対向する射光部5aと受光部5bとよりなる遮光センサ5が設置されている。該遮光センサ5はコネクタ取出時に作業者の手で遮光されてオンする。該表示ランプ4と遮光センサ5とは制御装置13内のI/0ポート16を介してCPU11とメモリー12とに接続されている。 20

【0010】該CPU11とメモリー12にはI/Oポート16を介して前記歩進センサ8と表示器10とが共に接続されている。該歩進センサ8は、電線支持具6の両側に位置する立壁17に遮光センサ5と同様に射光部8aと受光部8bとを対向して設けたものであり、電線支持具6上の端子付電線7を作業者が手で取り外すことにより遮光されてオンする。なお作業者の指の数等の細部を検知しないように該歩進センサ8には時定数を持たせてチャタリングを防止している。該電線支持具6は年部18に複数の電線クリップ19を立設した既存のもので30あり、該支持具6の一端方から他端方にかけて順に該クリップ19に端子付電線7を使用する順序に並べ付ける。該支持具6はハーネスサブアッシー20(図3)の種類に応じて段取換えされる。

【0011】また前記表示器10は、コネクタ2の端子収容室21(図3)に対応する複数のLED(発光ダイオード)を備えた区画部22よりなるディスプレィ9と、該ディスプレィ9の周囲に複数配設されてコネクタ2の口ックアーム23の位置表示を行いコネクタ2の上下を明確にするためのロック位置表示ランプ(LED)24と、各ランプ4、24やディスプレィ9の表示をオンさせる始動スイッチ25と、作業者に歩進のタイミング等を知らせるブザー26とを備える。そして作業者は該表示器10のディスプレィ9を見ながら手に持ったコネクタ2に端子27を挿入していく。

【0012】図2は上記組立誘導装置の作動状態を示すものであり、始動スイッチ25のオン( $S_1$ )によって表示器上10に使用すべきコネクタ形状が点滅する( $S_2$ )と共に、コネクタボックス3の表示ランプ4が点滅する( $S_3$ )。なお使用すべきコネクタ2の種類は制御 50

装置13のメモリー12内に使用順に予め入力されている。表示ランプ4で指示されたコネクタボックス3から作業者がコネクタ2を取り出すと遮光センサ5がオンし(S4)、コネクタ2の取出検知と同時に表示器10のコネクタ形状を点滅から点灯に変える(S5)。

【0013】次いで作業者が電線支持具6から端子付電線7を取ることにより歩進センサ8がオンし(S6)、表示器10に端子挿入位置が点滅して(S7)、端子27を挿入すべき端子収容室21が指示される。そしてコネクタ2内に端子27を全て挿入し終わるまで、例えば歩進センサ8のカウント数がメモリー内のコネクタ2の端子収容室21の数と等しくなるまで(S8)、歩進センサ8の作動と表示器10上の端子挿入位置の点滅とが繰り返され(S2~S7)、そのコネクタ2における最後の端子27の挿入位置が点滅すると同時に、ブザー26が一定時間鳴ると共に表示器10上の報知ランプ28が点灯し(S9)、作業者にそれが最後の端子27である(端子を挿入すべき端子収容室21の数があと一つである)ことを知らせる。

20 【0014】作業者はブザー26を聞いてコネクタアッシー(端子を挿入し終えたもの)を上記電線支持具6に戻す(S10)。これにより歩進センサ8がオンし

( $S_{11}$ )、例えば歩進センサ8のカウント数がハーネスサブアッシー 20の全端子数と全コネクタ数との和に等しくなるまで( $S_{12}$ )、上記  $S_2 \sim S_{11}$ の動作が繰り返される。全てのコネクタ 2 に端子 27 が挿着されて(例えば図 3 のようなハーネスサブアッシー 20 が完成する)、最後のコネクタアッシーが電線支持具 6 上に戻されると、前記ブザー 26 が長く鳴って作業者に作業終了を知らせる( $S_{13}$ )と同時に誘導装置 1 が初期値にリセットされ( $S_{14}$ )、次の作業の指示が行われる。

#### [0015]

【発明の効果】以上の如くに、本発明によれば、表示器上にコネクタ形状並びに端子挿入位置が表示されるから、メモリー内へのデータ入力変更だけであらゆる形状のコネクタに端子を誘導挿入させることができ、品番変更や設変に対して迅速に対応できると共に、従来に較べて装置自体がコンパクト化し、且つ簡単なソフト変更のみで済むためコストが低減され、段取作業も簡素化される。さらに作業者が表示器を見ながらコネクタを手に持って端子挿入を行えるから、作業性が良い。

# 【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係るハーネスサブアッシーの組立誘導 装置の一実施例を示す全体図である。

【図2】同じく作動状態を示すフローチャートである。

【図3】完成したハーネスサブアッシーを示す斜視図である。

【図4】従来例を示す全体図である。

### 【符号の説明】

1 組立誘導装置

